

地域ワイド

学生作

「緑のカーテン」に育てようとゴーヤに水をやる園児



緑のカーテン作ろう

南砺市寺家新屋敷(福野)の「福野タウンホテルア・ミュージー」に、職藝学院(富山市東黒牧・大山)の学生が指導者と製作したフロントカウンター一式がお目見え

福野ア・ミュージー

職藝学院に机など依頼

職藝学院が製作したのはカウ・ンターをはじめ、内側に置く作業用の引き出しや収納机など8点。学院の理事を長年務める西能政福野タウンホテル社長(78)が、学生の実習につなげようとの補助金を活用して製作の意匠を施した重厚感あるデザインとした。

した。家具職人を目指す学生たちは4日、最後の納品となる事務機を設置し、「貴重な経験となった」と充実した表情を見せた。

壁面や窓を植物で覆って日差しを遮る「緑のカーテン」をつくらうと、富山市千原町の月岡幼稚園(浅木睦子園長)の年長児28人が4日、同園でゴーヤの苗の植え付けを行った。市民と行政が連携し温暖化防止を推進する「チームとやまし」の一環として実施。園児は説明を受けながら、プランター8個に苗を植え、じょうろで水をやる。富山南高校でも4日、緑のカーテンができて、アサガオ幼稚園も涼しくなりそうです。とゴーヤの植え付け作業が行われた。

月岡幼稚園 ゴーヤの苗植え

壁面や窓を植物で覆って日差しを遮る「緑のカーテン」をつくらうと、富山市千原町の月岡幼稚園(浅木睦子園長)の年長児28人が4日、同園でゴーヤの苗の植え付けを行った。市民と行政が連携し温暖化防止を推進する「チームとやまし」の一環として実施。園児は説明を受けながら、プランター8個に苗を植え、じょうろで水をやる。富山南高校でも4日、緑のカーテンができて、アサガオ幼稚園も涼しくなりそうです。とゴーヤの植え付け作業が行われた。

昔ながらの民具展示

高岡市立博物館(西谷和子館長)のミニ企画展「むかしの人は、どんな道具を使っていたの？」が、高岡古城公園内にある同館で開かれている一写真。17日まで。



の道具とくらし」に合わせて開催し、調理器具、衣類など生活に根付いた民具66点を展示した。竹を利用したシャモジ立て、着物の形をしたふとん「ヨギ」、周囲に金網が張ってあり転倒しても消えにくい「蔵提灯」、お歯黒道具など今では見掛けないものが並ぶ。足踏み脱穀機やころがしなど稲作に使った農具もある。同館は入場無料、月曜休館。

防災防止呼び掛け

防災防止を図る全国安全週間(7月1~7日)への準備を進めてもらうと、魚津労働基準監督署(中澤一行署長)は4日、魚津市の新川文化ホールで管内事業所の経営者や安全衛生担当者を対象に説明会を開いた一写真。



約250人が出席し、中澤署長が労働者の安全確保は企業の社会的責任が問われる」とあいさつ。担当者が安全週間の実施要項を説明した。中央労働災害防止協会の村井和夫氏が安全衛生管理体制の確立について講演した。同署管内では昨年、防災による休業4日以上死傷者数は前年比4人減の227人だったが、死者は同3人増の6人に上った。



製作は建築職藝科家具コース2年生が担当した。指導に当たる家具職人の柿谷正さん(64)に技術を学びながら、材料の切り出しから、かな掛け、加工、組み立てなどを進めた。材料はアカマツをベースとし、カウ・ンター天板は光沢のあるマホガニ

長さは123センチ

花壇に苗開花楽しみ

高岡市の能町校下花と緑の会(小泉敬会長)は4日、同市能町南の能町小学校に花壇を新設した。花壇「あさぎの花はたけ」でマリゴールドなどの花苗を植えた。長さ123センチの細長い花壇は、同市新庄北社会福祉協議会と花と緑の銀行新庄北地方銀行が学校周辺を花で彩ろうと整備した。

能町小 2カ所新設



色とりどりの花の苗を丁寧に植える児童ら



富山などで清掃グループ店員がクールエスティックグループ本社、石川県野々市市、茂藤雅彦社長は4日、富山市路上のゴミを拾うスタッフ

わが家のアイドル

ゆずき 深野 柚妃ちゃん 1歳

パパ、ママ、さきお姉ちゃんといっしょに遊ぼうね♡ 大好きだよ。

富山市婦中町下柳田 会社員 深野雄大さん、真弓さんの次女

いけだ しょうたちゃん 1歳

富山市二〇町 会社員 池田大祐さん、恵美さんの長男

1歳おめでとう。これからも笑顔いっぱいの日を過ごそうね。

ベビーカー・ベビー用品 チャイルドシートなど

売買取引 鑑定局

なんでも鑑定局

限内高岡市ケイアールテスビル 北日本新聞2階 ユニクスビル 午後5時45分まで紹介しています

富山中心部では、クールエスティック富山・市民プラザ店のスタッフ14人が参加し、JR富山駅前や西町周辺などを回り、たばこの吸い殻やゴミを拾った。このほか県内では、富山市の山室店や、高岡店のスタッフもそれぞれ活動を行った。

【webunに動画と写真3枚】同会が学校を花で彩ろうと企画した。5月上旬に造園業者と協力して、グラウンド東側に約30平方メートルの花壇を2カ所整備。マリゴールド、サルビア、ペチュニアなど色とりどりの8種類720本の苗を用意した。児童は会員のアドバイスを受けながらシャベルなどで土を掘り、丁寧に苗を植えた。今後は4年生を中心に水やりなど管理を続ける。吉村亮祐君は「頑張って植えたので大切に育てたい」、大田歩果さんは「きれいな花が咲くのが楽しみ」と話した。

富山市中総合行政センターは4日、同市婦中町羽根の婦中ふるさと自然公園に同市百里小学校の3年生を招き、園内のふれあい花壇に色とりどりの花を植えた。自然に心を育んでもらおうと、公園を管理する同センターが3年前から実施。こころは児童34人のほか、地元の新町自治会・山崎友道会長のメンバーら地元住民計約20人が参加した。参加者は、花壇6面(計約60平方メートル)にマリゴールドやサルビ

棋王戦

先王手 挑戦者

【第5期】 22(14) 33 36以上 五段 六段

